

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 63-136680

(43)Date of publication of application : 08.06.1988

(51)Int.Cl.

H01S 3/133

(21)Application number : 61-281947

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 28.11.1986

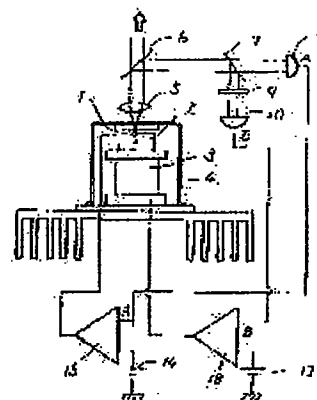
(72)Inventor : SUZUKI KAZUO

(54) SEMICONDUCTOR LASER DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To enable more simplicity, high interchangeability for each semiconductor laser and the control of a wavelength even in a long time operation by providing a current control device for adjusting the driving current of the semiconductor laser and a temperature control device for adjusting the temperature of the semiconductor laser.

CONSTITUTION: Laser output light is divided into two by a beam splitter 7 from a lens 5 via a beam splitter 6. One enters in a photodetector 8 which does not depend on a wavelength for sensitivity and the other enters in a photodetector 10 which also does not depend on a wavelength for sensitivity via an optical filter 9 which simply changes the transmittivity against a wavelength. The output A of the photodetector which does not depend on a wavelength for detected output is compared to reference voltage 14 and the driving current of a laser is so controlled as to make an oscillation output constant by the output of an error amplifier 15. The output B of a photodetector which simply depends on a wavelength for detected output is also compared to reference voltage 17 which corresponds to a set wavelength and the driving current of an electronic cooling and heating element is controlled by the output of an error amplifier 18 for temperature control.



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平1-306284

⑪ Int. Cl. *

識別記号

序内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)12月11日

B 41 M 5/26

P-7285-2H

// G 03 B 21/132

8004-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 OHP用原稿の作成方法

⑮ 特 願 昭63-136860

⑯ 出 願 昭63(1988)6月3日

⑰ 発 明 者 飼 田 真 一 神奈川県足柄上郡開成町富台798番地 富士写真フイルム株式会社内

⑱ 出 願 人 富士写真フイルム株式会社 神奈川県南足柄市中沼210番地

⑲ 代 理 人 弁理士 安形 雄三

明 細 書

(従来の技術)

1. 発明の名称 OHP用原稿の作成方法

2. 特許請求の範囲

1. 光を照射して、透過光の投影によって投影画像を得るための OHP用原稿作成方法において、透明又は半透明の OHP用シート全面にインク層が積層されている OHP用積層シートに対して、サーマルヘッドで画像部転写用シートに前記インク層を転写し、前記 OHP用積層シートに画像部を形成して OHP用原稿とするようにしたことを特徴とする OHP 用原稿の作成方法。

3. 発明の詳細な説明

発明の目的；

(産業上の利用分野)

この発明は、熱転写プリンタによるOHP(Over head Projector)用原稿の作成方法に関する。

熱転写プリンタ10は、例えば、第4図に示すように2個のローラ11及び12に巻装されたインクシート13と、このインクシート13の片面に配設され、加熱して熱転写するためのサーマルヘッド14と、インクシート13の他の片面に配設され、記録紙15を巻装するためのプラチン16と、このプラチン16の両側に配設され、記録紙15をプラチン16と挟持して搬送するための2個のローラ17及び18とが設けられている。

上記熱転写プリンタ10の製作を説明すると、記録紙15、例えばPET(ポリエチレンテレフタレート)製の OHP用シートの両端をプラチン16とローラ17との間に挿入させると、プラチン16とローラ17とが記録紙15を挟持して搬送し、さらに、記録紙15の先端をプラチン16と他方のローラ18との間に挿入させ、プラチン16と他方のローラ18とが記録紙15を挟持して搬送することで、記録紙15をプラチン16に巻装させる。この状態でサーマルヘッド14に電圧が印加されると、サーマルヘッド14が

特開平1-306284(2)

加熱し、サーマルヘッド14と記録紙15との間に配置されるインクシート13のインク層を溶融してインクを記録紙15に転写する。

(発明が解決しようとする課題)

第3図(A)及び(B)は熱転写したOHP用原稿20の平面図及び側面図を示した図であり、通常、透明又は半透明のOHP用シート21の上に黒又はカラーのインクの画像部22が層状に転写されている。そして、この熱転写したOHP用原稿20を光が透過してスクリーン上に画像部22を投影するため、非画像部分を透過して来る光がスクリーンで反射して、投影された画像が見えにくいという欠点があった。

この発明は上述のような事情からなされたものであり、この発明の目的は、OHP用原稿を投影する際に、スクリーンで反射する光を減少させて画像を見やすくしたOHP用原稿の作成方法を提供することにある。

発明の構成；

(B)、圧接された部分のインク層33を溶融して画像部転写用シート41に転写し、OHP用積層シート30にインク層33が抜けた画像部34を形成してOHP用原稿とする(同図(C))。第2図は、この発明方法を実現する熱転写プリンタ40を第4図に対応させて示しており、インクシート13の代りに画像部転写用シート41と、新たにインク塗布装置42とが設けられている。上記熱転写プリンタ40の動作を説明すると、OHP用シート31、例えばPST製シートをインク塗布装置42に搬送すると、インク塗布装置42がPET製シートの片面、即ち画像部転写用シート41と接触する面全体にインクを塗布する。そして、このインクが塗布されたOHP用シート31、即ちOHP用積層シート30の先端をプラテン16とローラ17との間に挿入させると、プラテン16とローラ17とがOHP用積層シート30を挟持して搬送し、さらにOHP用積層シート30の先端をプラテン16と他方のローラ18との間に挿入させ、プラテン16と他方のローラ18とがOHP用積層シート30を挟持して搬送することで、OHP用積層シート30を

(課題を解決するための手段)

この発明は光を照射して、透過光の減影によって投影画像を得るためのOHP用原稿の作成方法に関するもので、この発明の上記目的は、透明又は半透明のOHP用シート全面にインク層が積層されているOHP用積層シートに対して、サーマルヘッドで画像部転写用シートに前記インク層を転写し、前記OHP用積層シートに画像部を形成してOHP用原稿とすることによって達成される。

(作用)

この発明は、OHP用シートの片面全体にインク層を設け、サーマルヘッドで画像としたい箇所の上記インク層を取除くようにしている。

(実施例)

第1図(A)～(C)は、この発明方法の手順を説明する図である。同図(A)はOHP用積層シート31の一面にインク層32が積層されたOHP用シート30の側面図を示しており、このOHP用積層シート30のインク層32に画像部転写用シート41を介して加熱しているサーマルヘッド14を圧接し(同図

プラテン16に巻渡させる。そして、第1図(A)～(C)で説明した手順で処理が行われてOHP用原稿を得るものである。

第3図(A)及び(B)は処理されたOHP用原稿50の平面図及びX-X断面側面図を示しており、透明又は半透明のOHP用シート31の一面に積層されたインク層32のインクが抜けた箇所が画像部34として形成されている。

上述した方法により得たOHP用原稿50のインクが抜けた画像部34を光が透過し、非画像部分は光が透過しないので、スクリーンでの反射光が減少して画像が見やすくなる。

なお、サーマルヘッドによる加熱は、画像部転写シート側又はOHP用積層シート側それぞれから行なうことが可能であるが、OHP用積層シートが画像部転写シートより一般に厚いので、熱効率の点から画像部転写シート側から加熱するのが効果的である。また、OHP用シート又はOHP用積層シートはロール状又はそれを適当な大きさにカットしたもので良く、さらに、OHP用シートに予め

特開平1-306284 (3)

インク層が剥離されていれば、インク塗布装置を
脱ける必要がないため、従来の熱転写プリンタを
使用することが可能である。

発明の効果：

以上のようにこの発明の 9BP用原稿の作成方法によれば、非画像部分がインクで覆われ、画像部分だけインクが塗れているので、スクリーンに投影した際に余計な光反射が無くして見やすい画像を得ることができるようになる。

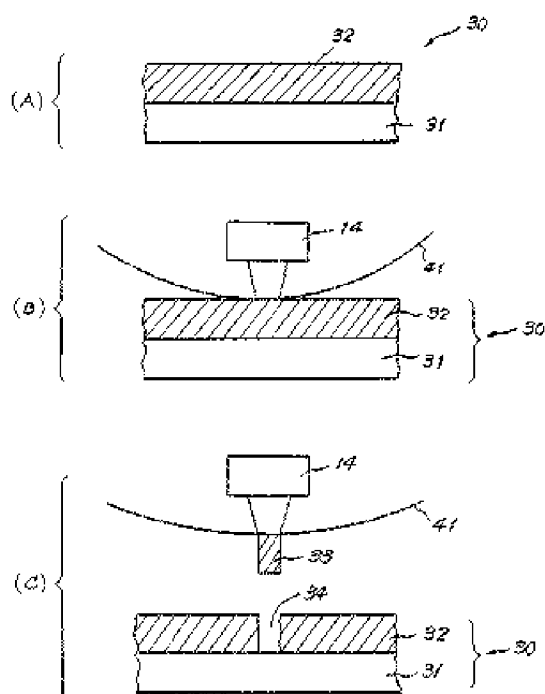
稿、10…GNP 角估值シート、11,12…GNP 用シート、13…インク部、14…画線部。

出願人代理人 安 形 雄 三

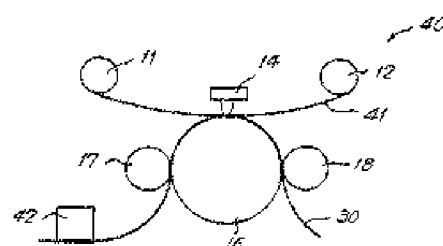
4. 図面の簡単な説明

第1図(A)～(C)はこの発明方法を説明する図、第2図はこの発明方法を実現する熱転写プリンタの概略を示す図、第3図(A)及び(B)はこの発明によって得られるOHP用原稿の一例の平面図及びその斜視側面図、第4図は従来の熱転写プリンタの概略を示す図、第5図(A)及び(B)は従来の熱転写プリンタによって得られるOHP用原稿の一例の平面図及びその斜視側面図である。

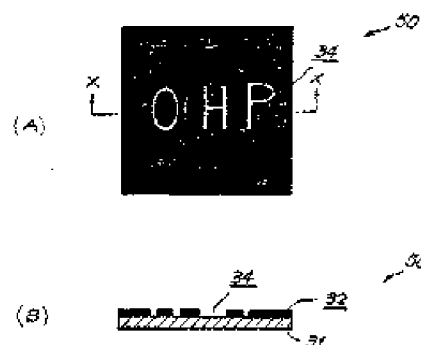
10.30 一熱転写プリンタ, 20.50 一0HP 用原



51 52

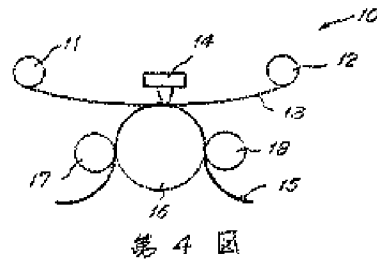


第 2 回

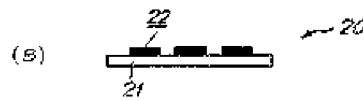
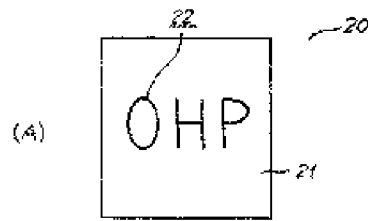


53 4

特開平1-306284 (4)



第 4 図



第 5 図